

国道20号(甲州街道)のケヤキ並木区間 今後に向けた基本的な考え方について

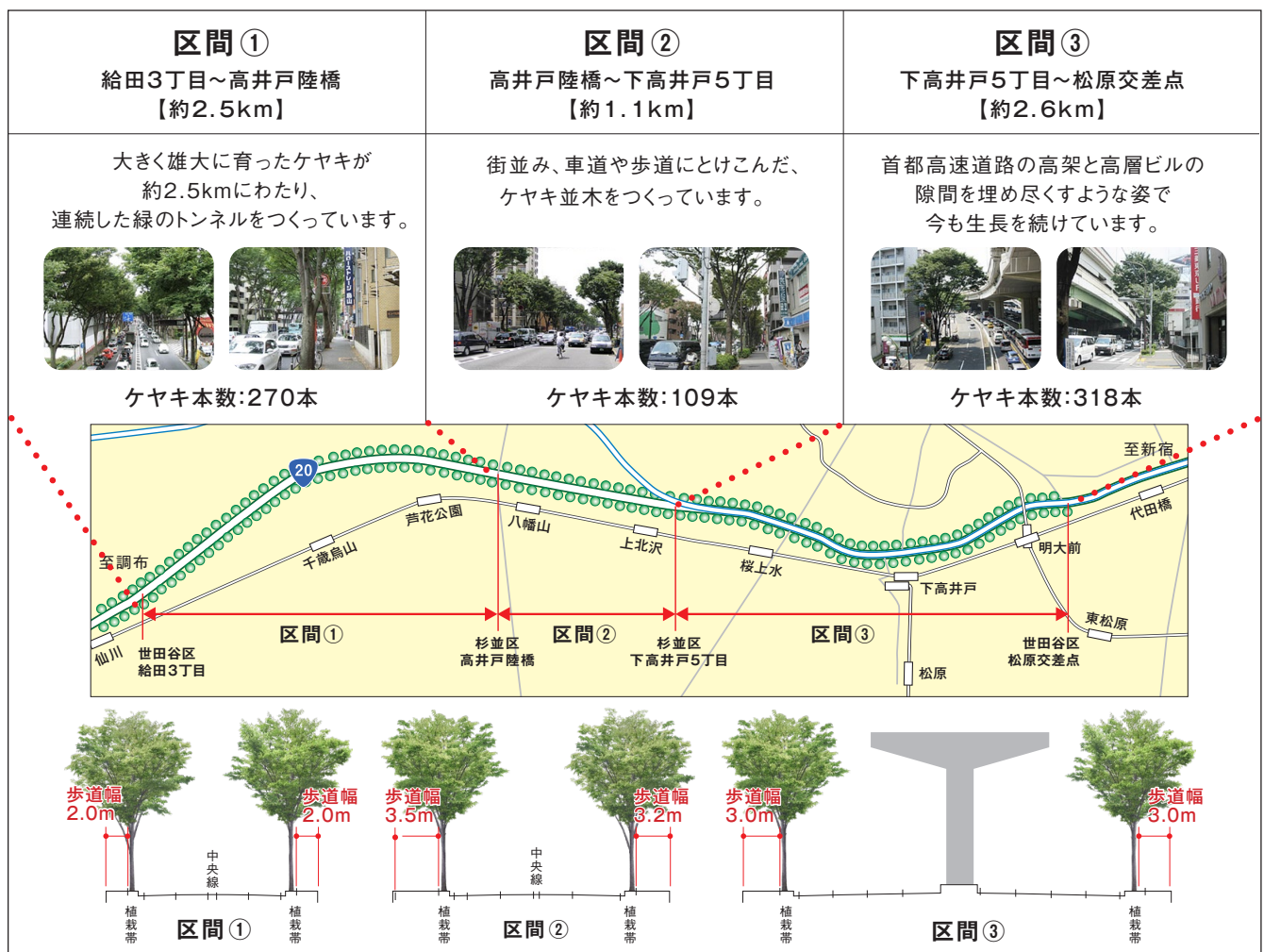
東京国道事務所では、将来にわたって国道20号においてケヤキ並木のある道路空間はどうあるべきか、そしてどう維持していくのかを検討していく必要があると考え、その検討にあたっては、管理者側の都合だけではなく、道路利用者と沿道の方々の考えも「お声」として取り入れることが重要と考えました。みなさまから頂いた「お声」を取り入れた、目指すべき安心・安全で緑のある道路空間を実現するための基本的な考え方を整理いたしました。

国道20号(甲州街道)のケヤキ並木の成り立ち

国道20号(甲州街道)は、江戸時代に整備された五街道の一つで江戸と信濃国を結ぶ道として古くから栄えました。昭和30年代の後半に東京オリンピック開催に向けて、道路の拡幅などの整備が行われ、今では立派な並木となったケヤキはこの時に沿道に植樹されたものです。

当時畑が多く見られた沿道の風景は、今はすっかり変わり、ケヤキも約60年の間に大きく成長し、緑豊かな並木道が数キロに渡って続く景観を形成しています。現在の国道20号は、都心と多摩地区を結ぶ幹線道路であり、沿道には住宅地等が連担しています。

ケヤキ並木区間の現況



※ケヤキ本数は、令和5年3月現在

ケヤキ並木の役割と維持していくための課題

ケヤキ並木が果たす効果

● 街の景観を美しく、親しみやすく

- ・ケヤキ並木は、街並みを彩ります。



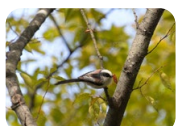
● 道路の安全性を高めす

- ・歩道と車道を分離して歩行者の安全を確保しています。



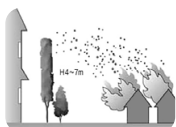
● 様々な生き物の休息の場に

- ・鳥や昆虫にとって、ケヤキ並木は都会の中の数少ない休息場所になります。



● 災害の拡大を防ぎます

- ・火事が起きた時には、ケヤキ並木があることで車道への影響を小さくしてくれます。

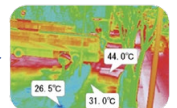


● 暮らしの環境を守ります

- ・強い日差しを和らげます。
- ・空気をきれいしてくれます。
- ・雨水を受け止め、地中に浸透させます。
- ・二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。



緑陰による路面温度の低減効果の一例



平成20年9月10日11時 世田谷区上北沢歩道橋付近



ケヤキ並木を維持していくための課題と取り組み

課題と取り組み

● 枝の剪定(せんでい)をしています

枝や葉で標識や照明灯が隠れてしまうため、枝葉の剪定を行っています。



枝や葉で標識が見えづらい

● 歩道や車道を清掃しています

国道20号をきれいに保つため、また排水枡を詰まらせないため、歩道や車道の清掃を行っています。



排水枡の上に落ち葉が堆積している

● ケヤキの健康診断をしています

台風等による倒木を防ぐため、ケヤキの健康診断を行っています。

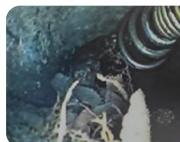


樹木医による調査

ケヤキの成長による新たな課題



根が歩道を押し凸凹になり、安全な交通の妨げになっています。



根が民地の排水管にまで入り込み、詰まらせてしまうことがあります。



幹が車道にせり出し、車両が接触することで、事故に繋がります。



病気が進んだ樹木が増え、台風などで樹木が倒れたり折れたりする可能性も高くなります。

みなさまの「お声」の集め方

東京国道事務所では、「持続的な街路樹管理に関する検討委員会」を設置し、有識者からの助言を受けながら、次のような手順・方法で沿道にお住まいの方、道路を利用される方をはじめとするみなさまの「お声」をお伺いしました。

持続的な街路樹管理に関する
検討委員会

報告

助言

ケヤキ並木の役割・課題等の整理

地元の方々へのヒアリング等

アンケート調査の検討

登録モニターを対象としたパイロット調査

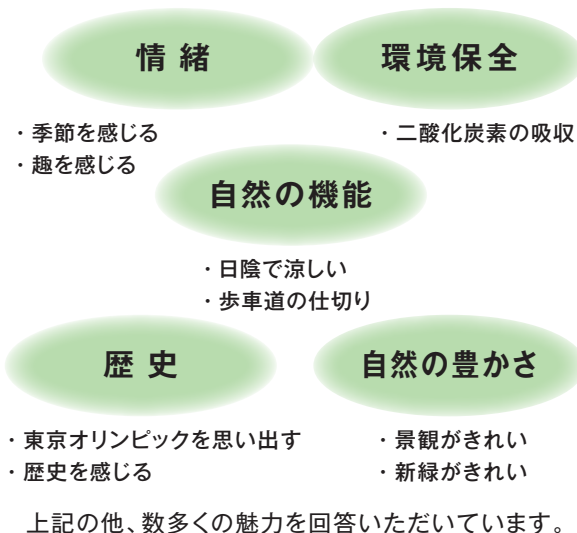
アンケート調査

ポスティングによるアンケート調査・WEBによるアンケート調査

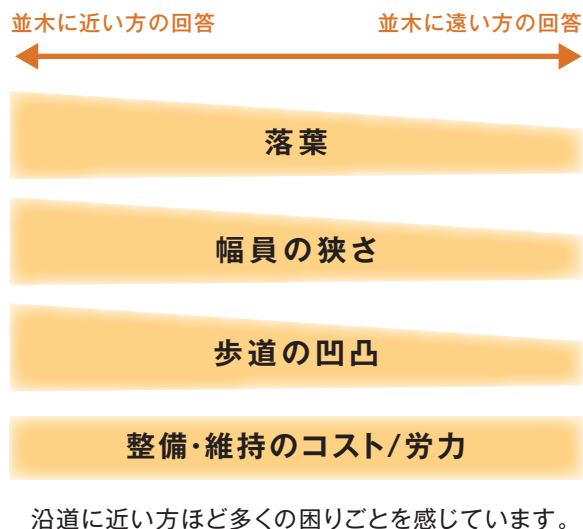
国道20号（甲州街道）に対してのみなさまの「声」

アンケート結果からは、沿道にお住まいの方々を中心に落ち葉や歩道の凹凸などの安全な道路通行や清掃に関するお困りごとがある一方で、季節感や緑陰などの「まちのみどり」による魅力があり、今後もみどりを残していきたいとの「お声」が多く集まりました。

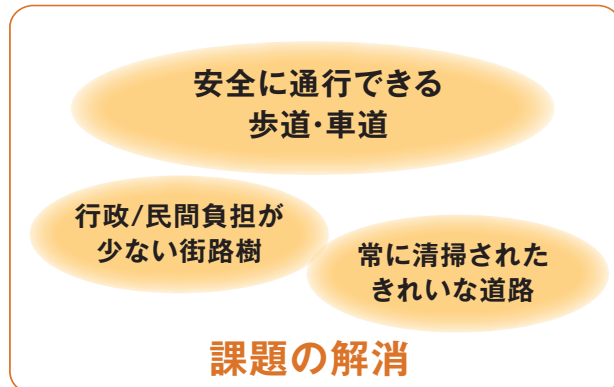
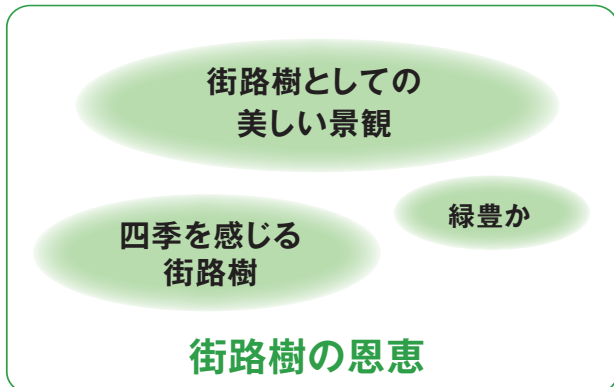
ケヤキ並木に感じる魅力



ケヤキ並木に感じる困った点



国道20号（甲州街道）に求める理想の姿

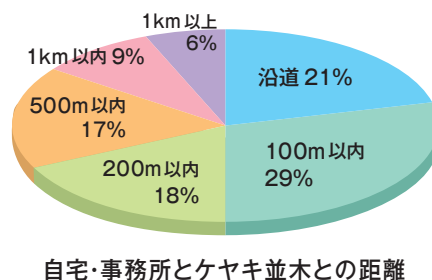


街路樹の恩恵の存続と課題の解消

この2つの両立を求める声が多く寄せられました。



アンケート調査は、ケヤキ並木の沿道やお近くにお住まいの方々(右図)を中心に、約6,000名の方々にご回答をいただきました。



国道20号（甲州街道）街路樹の 今後に向けた基本的な考え方(案)

東京国道事務所では、将来にわたり国道20号におけるケヤキ並木のある道路空間はどうあるべきか、そしてどう維持していくのかを検討していくに際し、みなさまから頂いた「お声」を取り入れた、目指すべき安心・安全で緑のある道路空間を実現するための基本的な考え方を整理いたしました。

①【みなさまのお声を踏まえ】

町会長やモニターインタビュー、Web・ポスティングアンケートなどの結果をもとに、この区間の街路樹に関心や関係をもっていただいている方々の、意識や意向を踏まえた基本的な考え方とします。

②【みどり・景観・環境を維持しつつ】

これまで60年にわたってもたらされてきた、グリーンインフラとしての、“みどり”・“景観”・“環境”を継承しつつ、沿道の方々のご理解とご協力も得ながら、これからもできるだけよい状態に維持していきます。

③【安全・安心な道路空間を目指して】

国土の重要な幹線道路であり災害時の緊急輸送道路としての役割を担いつつ、子育て世代や高齢者にも優しい道路として、安全・安心に利用してもらえる道路空間を目指していきます。

④【道路管理者として管理を徹底】

①～③のグリーンインフラの継承や安全安心な道路空間の考え方を踏まえつつ、道路管理者として街路樹の維持・保全や危険樹木の植え替えなども含めた管理を徹底していきます。